Arts Management for Social Inclusion

社会包摂型アートマネジメント

平成26年度文化庁「大学を活用した文化芸術推進事業」
社会包摂型アートマネジメント・プロフェッショナル育成事業

アートの活用形？

大阪市立大学

生きにくい社会と正面から向き合い、アートによってそれを突破していこうという実験的な試みに参加してくださる方を募集します。新しい風が吹き込んでくることによって、社会が変わってゆく姿を見届けようではありませんか。

大阪市立大学が提供する「社会包摂型アートマネジメント・プロフェッショナル育成事業」は、被災地や貧困地域、病院や障害者施設といった、問題を抱えたり社会から遠ざけられたりしている地域や施設において、アートを通してその解決や回復をはかり、それらをマネージするプロフェッショナルの育成をめざします。アートを活用する専門的なリテラシー（使いこなす能力）の習得が目的です。経験を積んだ専門家の指導のもとに現場で遂行する5つのプロジェクト実践と、その理論的背景や効果的な方法論をシェアする講座・フォーラムからなっています。

実施時期
2014年5月－2015年3月

会場
船場アートカフェ

http://artsmanage.jp

Arts Management for Social Inclusion

アートの活用形？
講座＋実践

平成26年度文化庁「大学を活用した文化芸術推進事業」
社会包摂型アートマネジメント・プロフェッショナル育成事業

社会包摂［social inclusion］とは———
　失業や薬物中毒、家庭崩壊など社会に広がった多様な社会的問題を解決しようとする政策課題として、90年代のEUにおいて浮上してきた概念です。孤立、孤独、排斥に押しやられがちな人々に対して、社会とつながるチャンネルを確保し、人々の相互関係や信頼感を回復させることによって、不当な差別や排除のないコミュニティをつくる実践を意味します。チャンネルづくりの媒体としてアートが注目され、アメリカ合衆国や英国でのコミュニティアートやオーストラリアのコミュニティ文化開発といった流れを形成しましたが、政権の交代によって予算が削減されるなど、まだ安定した社会的インフラにはなっていません。日本におけるその先駆的なアートマネジメントを本事業では学びます。

講座＋

すべての講座は船場アートカフェにて行います
2014年5月～2015年2月にかけて、全10回

1　アンチ・グローバリズムの地平から

5月28日｜水｜19:00－21:00
藤野一夫｜神戸大学大学院国際文化学研究科教授

2　悲しみから生まれる可能性

6月25日｜水｜19:00－21:00
播磨靖夫｜一般財団法人たんぽぽの家理事長

3　いのちをつなぐアート

7月23日｜水｜19:00－21:00
山口悦子｜大阪市立大学医学部附属病院医療安全管理部副部長

4　学校とアートをむすぶ

8月27日｜水｜19:00－21:00
井手上春香｜NPO法人子どもとアーティストの出会い理事長

5　アジアの現場から｜タイのアートマネジメント

9月（予定）｜19:00－21:00
グリティア・ガウィウォン｜ジムトンプソン・アートセンターディレクター

6　演劇で育む創造力

10月22日｜水｜19:00－21:00
小田中章浩｜大阪市立大学大学院文学研究科教授

7　地域とアートプロジェクト｜違和感と向き合う

11月26日｜水｜19:00－21:00
藤浩志｜十和田市現代美術館館長｜美術家

8　シビックプライドと自治から考えるアート

12月10日｜水｜19:00－21:00
嘉名光市｜大阪市立大学大学院工学研究科准教授

9　社会的課題とアートの力

1月（予定）｜19:00－21:00
マット・ピーコック｜ストリートワイズ・オペラ代表

10　アートと社会的包摂、そしてアジア

2月18日｜水｜19:00－21:00
中川眞｜大阪市立大学大学院文学研究科教授

＋プロジェクト実践

詳細は講座にてお知らせいたします
※プロジェクト実践を受講希望される方は、必ず講座にも出席ください

A　病院を元気にするアートプロジェクト

アーティスト｜**森口ゆたか**
講師｜**森合音**
連携先｜大阪市立大学医学部附属病院
実施時期｜2014年9月～2015年3月にかけて【全6回】

ホスピタルアートとは病院という場に充満する様々な想いをアートという名のフラットな「広場」において語り合い、問題点やニーズを洗い出し、そこに創造性や新たな角度からの視点を持ち込むことで新しい「解」を導きだす取り組みのこと。常にその「解」には別の「解」が存在すると同時に「問い」も含まれている。本プログラムでは、現場の声に耳を澄まし、対話から生まれる新しい病院のかたちを、アーティスト、職員、そして受講生の皆さんと一緒に探ってゆく。

B　こども熱帯音楽祭

アーティスト｜**横沢道治**ほか
講師｜**小島剛**
連携先｜NPO cobon タチョナプロジェクト
実施時期｜2014年7月～9月にかけて【全6回】

「タチョナ」は、主に学校の授業のなかで子どもたちがアートに触れ体感する芸術体験プログラムを提供している。「こども熱帯音楽祭」が目的とするのは、アーティストと子どもたちが共に創意工夫して音楽を創っていくことを通して、様々な課題を創造的に解決していく力を育んでゆくこと。本プログラムでは、教育現場において、子どもたちの創造性を引き出すために必要となる教員や保護者との連携によって、より柔軟で想像的なマネージメント力を養っていく。

C　HANAアートフェスティバル

アーティスト｜**sonihouse**ほか
講師｜**岡部太郎**
連携先｜たんぽぽの家 アートセンターHANA
実施時期｜2014年6月～12月にかけて【全10回】

日本で初めての障がいのある人のアートセンター「たんぽぽの家アートセンターHANA」。ここから多様な表現が数多く生まれ、国内外で作品発表するとともに、アートが障がいのある人の「しごと」になる試みを続けている。本プログラムでは、アーティストとHANAメンバー、そして地域の人たちをつなぐ創造活動をつくり、アートを媒介としてネットワークを広げていくことで、10年目を迎えるHANNの課題の一つ、「地域における役割」を考える。

D　「つくる」ことを軸にした共有の場づくり

アーティスト｜**薮内美佐子**
講師｜**松尾真由子**
ゲスト講師｜**グリティア・ガウィウォン**
連携先｜ブレーカープロジェクト
実施時期｜2014年9月～2015年2月にかけて【全6回】

地域密着型のアートプロジェクトを展開するブレーカープロジェクトは、独自の表現手段を開拓するアーティストと共に地域の人々との関わりをつくりながら、日常のなかに創造の現場を生み出している。空き家などのスペースを活用した創造活動拠点は、アーティストと共に、地域に根ざした創造活動をつくっていく共有の場。アートと地域をどのようにつなぎ、有効な関係をつくっていくのか、現場の実践を通して、それぞれがその手法を発見していくプログラム。

E　釜ヶ崎オ！ペラ

アーティスト｜**ストリートワイズ・オペラ**ほか
講師｜**上田假奈代**
ゲスト講師｜**マット・ピーコック**ほか
連携先｜NPOこえとことばとこころの部屋（ココルーム）
実施時期｜2014年11月～2015年2月にかけて【全10回】

寄せ場（日雇い労働市場）・釜ヶ崎も変化し、高齢者が多く暮らしている。このまちで活動するココルームはカフェや釜ヶ崎芸術大学などによって、まちの人々とさまざまな人々とのであいをつむぎ、表現と学び合いの場をつくっている。本プログラムでは、ホームレスの人々とオペラを通じて活動するストリートワイズ・オペラを英国から招き、「釜ヶ崎オ！ペラ」を制作する。人生のひきうけ方を他者と関わりながらみいだしていくなかで、アートマネジメントの果たせる役割を考え、その多様性に気づき、手法を学ぶ。

受講を希望される皆様へ

講 座

- どなたでも受講していただけます（1回限りの受講も可）。
- 講座日程および講師は変更する場合もありますので、その都度お知らせします。（講座、1回のみの参加の方は、事前にお問い合わせいただくか、ホームページを確認ください。）

【講座】申し込み方法

氏名、年齢、職業、連絡先（電話番号／PCメールアドレス）、受講される講座日程を下記メールアドレスにてお申し込みください。

※ご予約は、各講座の5日前までにお願いします。

プロジェクト実践

- アートの領域のみならず、教育、福祉、医療、まちづくり等の現場で、アートを活用した取り組みをされている方、行政や企業の文化担当の方などを主な対象者とします。学生の場合は、大学院生以上とします。
- 講座（6コマ以上）を受講してください。
- 各プロジェクトの詳細については、講座にてご案内いたします。
- プロジェクト実践では、プロジェクトを一つ選択し、全回とも通して出席していただくことを基本条件とします（複数選択も可）。
- 各プロジェクトには定員がありますので、定員オーバーした場合は希望に添えない場合もあります。あらかじめご了承ください。

【プロジェクト実践】申し込み方法

氏名、年齢、職業、連絡先（電話番号／PCメールアドレス）、希望されるプロジェクト実践を明記のうえ、受講の動機と抱負（400〜800字）と共に、5月25日までに下記メールアドレスにてお申し込みください。

申し込みメール　**artsmanagement@lit.osaka-cu.ac.jp**

Forum

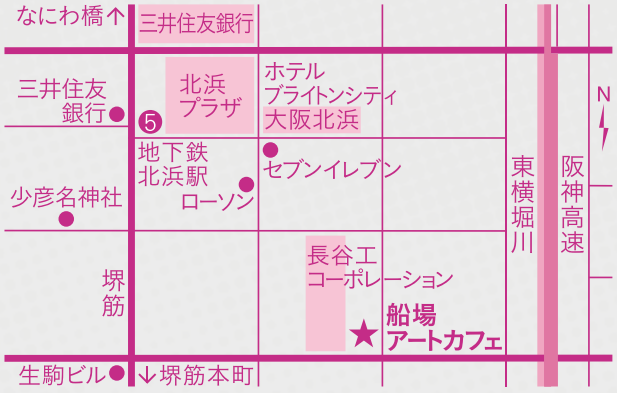
講座、プロジェクト実践を振り返るフォーラムを実施します。

日程　2015年3月11日（水）
会場　大阪市立大学・文化交流センター（予定）
出演者　森合音、小島剛、岡部太郎、松尾真由子、上田假奈代 ほか

船場アートカフェ
SENBA ART CAFE

〒541-0046 大阪府大阪市中央区平野町1-5-7 辰野平野町ビル地下1階
辰野ひらのまちギャラリー（南東角の屋外階段から地下へ）
URL: http://art-cafe.ur-plaza.osaka-cu.ac.jp

船場アートカフェは、大阪市立大学・都市研究プラザが運営する現場プラザです。



地下鉄堺筋線北浜駅5番出口から徒歩5分

受講料

講座｜全通し（10回）＝8,000円 ／ 1回＝1,000円
プロジェクト実践｜無料

※10回分まとめてお支払いになる方は8,000円になります（初回にお支払いください）。お支払い後の払い戻しは致しかねます。

問い合わせ先

大阪市立大学文学部内　AMP事業事務局
Eメール　artsmanagement@lit.osaka-cu.ac.jp
ウェブサイト　http://artsmanage.jp

主催　大阪市立大学
共催　一般財団法人たんぽぽの家
NPO法人こえとことばとこころの部屋
NPO法人cobon
協力　チュラロンコン大学（タイ）
ジムトンプソン・アートセンター（タイ）
ブレーカープロジェクト
特別協力　ブリティッシュ・カウンシル
助成　平成26年度文化庁「大学を活用した文化芸術推進事業」

文化庁 AGENCY FOR CULTURAL AFFAIRS
大学から文化力